

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組などをお知らせしています。(年3回発行)

□研修レポート

■日本における本邦研修 技能競技大会セミナー(情報ネットワーク施工)

2022年11月2日(水)～11日(金)に3年ぶりとなる参加者を日本に招聘しての本邦研修が開催されました。今回はカンボジアからプレアコソマック工科職業訓練校(PPI)2名、国立カンボジア高等工科職業訓練校(NPIC)2名、国立高等技術職業訓練校(NTTI)2名、計6名の訓練校指導員が参加しました。今回の参加者は全員2021年度にオンラインで実施した競技課題採点・評価者セミナー(情報ネットワーク施工)の受講経験者です。

■研修日程

11月1日	(火)	午前	来日
11月2日	(水)	午前 午後	開講式 公共職業訓練の概要 (厚生労働省)
11月3日	(木)	午前 午後	技能検定と技能競技大会の概要 (SESPP事務局) 技能評価のための採点の原則と方法 (SESPP事務局) カントリーペーパー発表 (カンボジア)
11月4日	(金)	午前 午後	視察① 住友電気工業(株) 横浜製作所 視察② 関東職業能力開発促進センター(ポリテクセンター関東)
11月5～6日	(土・日)	終日	技能五輪全国大会 視察(幕張メッセ)
11月7日	(月)	終日	資料整理
11月8～10日	(火～木)	終日	技能競技大会セミナー
11月11日	(金)	午前 午後	技能競技大会セミナー 総括・閉講式
11月12日	(土)	午前	離日

本邦研修実施概要

●公共職業訓練の概要

日本の公共職業訓練の概要を内野智裕氏(厚生労働省海外協力室、海外協力交渉専門官・海外訓練協力官)より講義いただきました。参加者からは、教育訓練機関の就職支援活動についての質問や意見交換がなされました。

●事務局からの講義

日本の技能検定と技能競技大会の概要および技能評価のための採点の原則と手法に関する講義を、稲川文夫氏(SESPP事務局技術顧問)よりいたしました。

●カントリーペーパー発表

参加者からカンボジアの電気についての発表があり、現状が共有されました。

●職業訓練施設、情報ネットワーク施工職種関連企業視察

・住友電気工業株式会社 横浜製作所

光ファイバーの歴史、製造工程の説明ののち、光ファイバー製造工場を視察し製造方法等を紹介いただきました。コネクタ、クローザー、融着接続器等の展示機器類を視察しながら、説明を受けました。参加者からは光ファイバー施工に関して様々な質問が寄せられました。

・関東職業能力開発促進センター(ポリテクセンター関東)

センターの事業内容を説明ののち、実際の訓練施設、機械CAD設計科や電子回路技術科等の実際の訓練風景を視察しました。参加者からは短期間の訓練コースで求職者が就業できるカリキュラムと企業との連携体制に驚きの感想が上がっていました。

●技能五輪全国大会視察

幕張メッセで開催された技能五輪全国大会を、研修後半に実施する技能競技大会セミナーで対象となる情報ネットワーク施工を中心に2日間にわたり視察しました。

情報ネットワーク施工に加え電気系やロボット技術に高い関心を寄せているようでした。

●技能競技大会セミナー

3日半にわたり、情報ネットワーク施工職種における、技能競技大会運営に関する指導、技術指導が行われました。講師は松本祥孝氏(関西職業能力開発促進センター)、伊藤進氏(株式会社さきんでん)、小泉孝史氏(株式会社関電工)、前田洋介氏(株式会社 ミライト・ワン)にご担当いただきました。参加者は実際に技能競技大会の課題に取り組み、評価作業まで行いました。

各講師からは以下のような評価をいただきました。

『初めて課題・評価に取り組んだが、カンボジアの参加指導員は熱心かつ積極的にチャレンジし、不明な点はすぐに質問をしたり仲間同士で議論したりして技術・評価法の習得に尽力していた(松本氏)。』、『受講者が真面目に取り組んでおり、成長が期待できる。研修では、初めて触れるリボンファイバーを自室に持ち帰り練習するほど驚いた(伊藤氏)。』、『前回のオンライン研修から8か月ほど経過したが、当時より格段に技能が向上しており驚いている。言葉の壁は有るものの、教える/教わるの気持ちがあるからこそ、相互の意思疎通が取れるのだとも感じた(小泉氏)。』、『わからないことがあると、わかるまで質問する姿勢に感心した。自分達の手で競技大会の実施を実現しようとしている姿勢を強く感じられた(前田氏)。』

●アクションプラン発表・閉講式

10日間にわたる研修成果をもとにカンボジア参加者からアクションプランの発表がありました。帰国後、『モジュール1及び2の評価シートを作成する』、『模擬競技大会を実施できるよう、課題・評価シート作成、大会・競技委員の選定、機器類の調達を行う』等の自国での実施について発表がありました。内野氏(厚生労働省)からは、『本職種は施工して終わりではなく保守も伴う。保守を想定した施工を心掛ける必要がある。本研修の成果を自国の実情に合わせて是非活かしてほしい。』等の講評をいただきました。



公共職業訓練についての講義風景



技能検定と技能競技大会概要の講義風景



カントリーペーパー発表風景



住友電気工業 横浜製作所視察風景



ポリテクセンター関東視察風景



技能五輪全国大会見学風景



技能大会セミナー実施風景



アクションプラン発表風景



閉講式風景

■カンボジアにおける配電盤・制御盤組立て作業 2 級の技能評価者講習 (SAT)・技能評価トライアル (SET)

2022年12月19日(月)～12月23日(金)に配電盤・制御盤組立て作業2級の技能評価者講習及び技能評価トライアルが産業技術大学(ITI)にて開催されました。国立カンボジア高等工科職業訓練校(NPIC)2名、プレアコソマック工科職業訓練校(PPI)2名、産業技術大学(ITI)2名、国立高等技術職業訓練校(NTTI)2名、カンボジア-タイ技能開発大学(CTSDI)1名、国立起業促進技術革新大学(NIEI) 1名の計10名が参加しました。

技能評価者講習は10名が受講、技能評価トライアルは4名が受検しました。受講者は2018年度に修了した3級の受講者(3級認定評価者 4名を含む)を中心に参加しました。

講師は萩生田 幸男氏(高和電気工業株式会社)にご担当いただきました。

研修は、技能評価者講習にて『実技試験問題解説』、『実技試験実施要領説明』、『実技採点基準・要領説明』、『採点方法研修』等を実施し、技能評価トライアルにて、『学科試験』、『実技試験』、『採点・集計』の内容で実施しました。

講師の萩生田氏からは、『現地ITIで4年ぶりの開催となった。昨年からは2級の課題になり、今回もSATを実施してから初めて2級のSETを実施した。SETを現地でできた事はとても有意義であった。2級の課題でのSETは3級に比べてかなりレベルアップされており、受検者は学科・実技試験共に苦戦していた様子なので、技能向上に向け更なる努力が必要と感じた。また、受講者には真面目に一生懸命取り組んで頂き、SETを理解し習得して頂いた。』との講評をいただきました。

受講者からは、『本事業研修受講経験者が多かったので、チームワークが良く、スムーズな研修が行われた。』、『新しい知識を沢山得ることができた。』、『日本での技能検定を直接視察したい。』、『1級レベルまで研修を継続して欲しい。』等の意見が寄せられました。



講義実施風景



実技試験実施風景



技能評価実施風景

□インドネシアで2022年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるインドネシアと12月19日(月)に官民合同委員会をジャカルタで開催いたしました。

メンバーは国家職業資格認証機構(BNSP)、金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)、在インドネシア日本大使館、現地訓練校、厚生労働省、SESPP事務局およびその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換等を議題に開催いたしました。

■ インドネシア

日時 参加者	2022年12月19日(月) 09:00-12:00(インドネシア時間) (国家職業資格認証機構(BNSP)、金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)、在インドネシア日本大使館、現地訓練校、厚生労働省、SESPP事務局およびその他関係者)
参加者数	18人
今年度実施した 職種の成果	・機械製図(CAD製図)2級 技能評価トライアル、技能評価者認定(認定評価者4名誕生)
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標：技能検定の定着及び実施種目のレベルアップ ・活動：2022年事業のフォローアップ。 ・2023年度の事業実施案 2022年度までの事業のフォローアップ(ニーズ、優先順位を踏まえ、対象職種を選定) 『プラスチック成形2級SET/SAC(評価者認定)』または『機械製図CAD作業2級SAT/SET』
今後の両国間の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック成形に関して、IMDIA前事務局長より、2級の認定評価者を増やしてほしいと希望されたこと、機械製図(CAD作業)については専門家より、受検対策・訓練を行い、2級受検者を増やすよう要望を受けていることを事務局から共有した。 ・BNSPより金属加工分野だけでなく、情報技術分野、ロボティクス、メカニカルシステムメンテナンス等の職種にも取り組むべきとの要望があった。 ・BNSPより今回のような会合、コミュニケーションはとても有意義で重要であり、年1回の官民合同委員会の実施だけではなく定期的に会議や交流を実施し、課題を見つけ、解決していきたいとの提案があった。

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266

担当：近藤・池田・岩下
E-mail : sespp@jtb.com